

風土記と  
宍粟②

て位置づけられ、伊和大神やその妻神・子神の神話は、飾磨・揖保・宍粟・神前・託賀の5郡に分布していることから、かつては広範な信仰圏を有したのであることが推量されるが、ここではふれない。

このほか、天日槍命(以下「アメノヒボコ」という)の神話も興味深いものがある。これは、韓国からの渡来人アメノヒボコを軸として、伊和大神と葦原志許乎命(以下「アシハラシコ」という)がからむ地名説話として語られているが、本来は揖保郡宇頭川(揖保川)を舞台とする一続きの国占の物語ではなかったろうか。

この神話のクライマックスは、御方里黒土志爾高における国占の場面である。二人が足に付けて投げた黒葛三条のうち、アメノヒボコの黒葛は三条ともに但馬国に落ち、アシハラシコの黒葛は但馬国気多郡・夜夫郡とこの御方に落ちたので、アメノヒボコは但馬国出石を占めるところとなる。なぜアシハラシコの黒葛が但馬国の気多郡・夜夫郡に落ちたのか、興味深いところではあるが、じつは平安時代前期に成立した『和名類聚抄』の郡郷部による

前号に引き続き、④山川原野の地名の由来から、『播磨国風土記』はこの命題については非常に力を入れており、10郡(「印南郡」は、当時存在せず賀古郡に含まれていたとする説があり、この説に従えば9郡となる)81里の地名について、逐一説明を加えている。宍粟郡もご多分にもれず、7つの里と9つの村にはじまって山・川・野などの由来を詳しく記録しているのであるが、なかには高家里の都太川のように「衆人、え称いはず(地名の由来を誰も説明できない)」とまで書き記している所もある。

次に、⑤古老の伝承であるが、これは④の地名の由来と相まって、大変豊かな神話や説話が物語られているが、そのなかでも柱になるのは、伊和大神に關わる神話であろう。

と気多郡・養父郡そして宍粟郡にはそれぞれ「三方」郷が存在する。つまりアシハラシコヨの黒葛三条はすべて「三方」に落下したことになり、この神話はこのことを踏まえ、たうえに成立したであろうことが判明する。逆説的に言えば、気多郡・養父郡の「三方」地名も奈良時代にさかのぼるということの証明でもある。



いまほり本 『播磨国風土記』 宍粟郡

宍粟市歴史資料館 垣内 章

おいでよ 図書館へ



宍粟市立図書館 ☎62-4620  
山崎町鹿沢 81  
移動図書館「ささゆり号」  
図書館から離れた地域や福祉施設を巡回しています。時間や場所は「しーたん放送」でお知らせします。どなたでも利用していただけますので、近くへ行つた際には、ぜひお越しください。



今月のオススメ

ローマは一日にしてならず  
著者/樺山紘一  
聞いたことはあっても、意外と本当の意味を知らない名言があります。名言の背景にある歴史にも触れてあり、誤解が解けたり、新しい発見があります。



図書館カレンダー

クマのプーさん  
世界一有名なティ・ベアのおはなし  
著者/シャーリー・ハリソン  
訳/小田島 則子  
クマのプーさんは実在した!物語のモデルとなった体のティ・ベアの誕生から現在までを細かく追った、ぬいぐるみのプーさんの伝記本です。

□ 休館日  
【開館時間】午前10時～午後5時30分

日	月	火	水	木	金	土
						14 15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

編集後記

皆さんお気づきですか?今月の広報が「99号」であることを。今一度、表紙でご確認ください。宍粟市が発足して100か月が過ぎようとしています。「まだ100か月」「もう100か月」…一人ひとり感じ方は違いますが、皆さんの100か月は長かったですか、それとも短かったですか。  
 安はこの節目となる100号の制作に関わることが出来て、嬉しく思っています。宍粟市の歴史のワンシーンを刻む? ような気がするからです。仕事と言えばそれまでも知れませんが有難いことです。さて、その100号、現在(え) (石)と共に「作戦会議中」です。どんな内容になるか、お楽しみに!